

鈴鹿市、ホンダ、鈴鹿サーキットの歩み

- 1942(昭和17) 鈴鹿市誕生(人口約5万人)
- 1948(昭和23) 本田技研工業株式会社(ホンダ)創立
- 1954(昭和29) 河芸郡3村(栄、天名、合川)、井田川地区の一部を編入合併
鈴鹿市役所旧庁舎落成



- 1957(昭和32) 鈴鹿郡三鈴村の一部、鈴峰村の一部を編入合併
- 1958(昭和33) ホンダ、初代スーパーカブ「C100」発売
- 1959(昭和34) ホンダ、ロードレース世界選手権「マン島TT」初挑戦
- 1960(昭和35) ホンダ鈴鹿製作所稼働開始



- 1962(昭和37) 鈴鹿サーキット開場



- 1963(昭和38) 近鉄鈴鹿線全線開通

鈴鹿サーキットで
第1回日本GP(2輪・4輪)開催



- 1964(昭和39) ホンダ、F1世界選手権挑戦開始

- 1967(昭和42) 鈴峰村を編入合併



- 1978(昭和53) 鈴鹿サーキットで第1回鈴鹿8耐開催
人口15万人に達する



- 1982(昭和57) 杉本龍造氏に名誉市民の称号を贈る

- 1987(昭和62) 鈴鹿サーキットで22年ぶりにロードレース世界選手権「日本GP」開催
鈴鹿サーキットで初となるF1日本GP開催



- 1988(昭和63) 人口17万人に達する

- 1990(平成2) 本田宗一郎氏に名誉市民の称号を贈る
ル・マン市と国際友好都市締結



- 2004(平成16) 世界に類をみない
「モータースポーツ都市宣言」を行う



- 2006(平成18) 人口20万人に達する
鈴鹿市役所新庁舎完成

- 2014(平成26) スーパーカブの形状が日本で立体商標登録認可

- 2017(平成29) スーパーカブ、世界生産累計1億台を達成

- 2019(令和元) 鈴鹿市内公道を「SUZUKA 10H」
参加のマシンがパレード



鈴鹿市制施行80周年・鈴鹿サーキット開場60周年



1960(昭和35)年、本田技研工業株式会社(ホンダ)鈴鹿製作所が稼働を開始しました。

2年前に販売が開始された同社のオートバイ「スーパーカブ」の生産拠点としてのスタートでした。

スーパーカブは、その高い性能は言うに及ばず、随所に画期的なアイデアや工夫が凝らされ、発売当初から大変な人気を呼び、爆発的なセールスを記録しました。

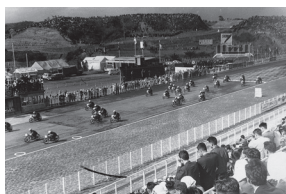
2017(平成29)年には世界生産累計1億台を達成。単一モデルの生産数としては世界最多の記録です。誕生から60年以上を経た現在でも、レジャーから商用まで世界中で多くの人々に愛されています。



開業当時の本田技研鈴鹿製作所

スーパーカブのヒットは、ホンダを大メーカーに押し上げる原動力になっています。

その勢いをかって、ホンダの創業者 本田宗一郎氏(1906~1991)は次なる夢-国際規格のレーシングコースの建設に着手します。同氏の「クルマはレースをやらなくては良くならない」という、世界的視野に立った熱い思いからでした。



開場直後の鈴鹿サーキット

かくして1962(昭和37)年に誕生した鈴鹿サーキット。そこで開催された数々の国際レースは、世界のマシン・一流の走りをわが国に紹介し、モータースポーツの振興にとどまらず、日本の自動車産業の飛躍的な発展に大きな貢献を果たしてきたのです。

鈴鹿市制施行80周年、そして鈴鹿サーキット開場60周年を迎えた2022(令和4)年、ホンダ鈴鹿製作所で生産された第1号機のスーパーカブが“故郷”に帰ってきました。

このスーパーカブは、本田宗一郎氏が当時の杉本龍造市長に贈呈した、まさに現在の鈴鹿市、ホンダ、そして鈴鹿サーキットの発展の原点ともいえるべき「偉大な1台」です。



2022(令和4)年9月30日(金)まで鈴鹿市役所で展示されています。



鈴鹿旅ナビ For Riders



×



発行:鈴鹿市・(一社)鈴鹿市観光協会
監修:NPO法人鈴鹿モータースポーツ友の会

フォトスポット

1960年代当時の風景(街並み)を古い写真をもとに再現! 時代を超えて「スーパーカブ」と駆け抜けてきた時代へとタイムスリップしたような感覚へ誘います。
【2022(令和4)年9月30日まで】

- 1 鈴鹿市役所
- 2 鈴鹿ハンター
- 3 勝速日神社



ISE MATCHA CAFE
本物の抹茶を気軽に楽しめる人気のカフェ



クラフトアルマジロ
オートバイのパーツを製造・販売。培った技術を活かした実用性も抜群のチタンカップは優れたもの!

グルメスポット

- 1 みさき屋(焼肉)
- 2 東宛(焼肉)
- 3 浪速でおます(お好み焼き)
- 4 鞍馬サンド(サンドイッチ)
- 5 CRES(中華)
- 6 ロズマリーノ(イタリアン)
- 7 パッシオーネ(イタリアン)
- 8 YAMAKAWA(イタリアン)
- 9 一歩(らーめん)
- 10 東雲(らーめん)
- 11 大林(らーめん)
- 12 らーめん門蔵(らーめん)
- 13 ごえもんうどん(うどん)
- 14 太助(うどん)
- 15 蕎麦 空(そば)

桃林寺

1181年創建。鈴鹿連山を背に、遠くには伊勢湾を眺め、志摩半島や知多半島を一望できる。



春泉堂老舗

"椿さんの草もち"として親しまれる「椿草もち」。上品な甘味が心まで和らげる。



鈴鹿P.A.スマートIC

モータースポーツにちなんだ展示の他、鈴鹿にちなんだお土産も揃う。(一般道からも利用可能)

ISE MATCHA CAFE

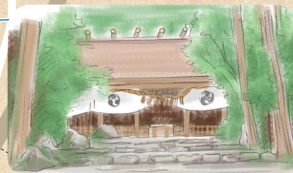
鈴鹿IC

Cafe Cub SUZUKA (オートバイ神社)

スーパーカブがテーマのカフェ。カブの雰囲気を感じながら食事を楽しむこともできる。

椿大神社

2000年の歴史をもつ神社。良縁が生まれると「かねえ滝」の写真を得る受けにする人も!



荒神山観音寺

浪曲や映画に描かれた博徒同士の死闘の舞台。銃弾に倒れた清水の次郎長一家の吉良の仁吉の石碑が立つ。



鈴鹿みどりの大地

安心・安全でおいしい! 地元・鈴鹿の産直品が購入できる!



とらや勝月

「鈴鹿の駿風ライダーもなか」はSNS映えすること間違いなし!



いのう伊奈富神社

2100年の歴史を誇る古社。春に咲くムラサキツツジは鮮やか。



鈴鹿市伝統産業会館

全国に誇る伝統的工芸品「伊勢型紙」と「鈴鹿墨」の歴史や魅力を紹介。伊勢型紙のワークショップも!



鈴鹿市観光協会

鈴鹿のことなら何でもわかる施設。鈴鹿名産のお土産が揃う。



近鉄白子駅モリス

歴代F1日本GPのボディウムに立った選手の実物手形が!



椿茶園

お茶農家が営む日本茶カフェ



鈴鹿市役所展示車両

Honda Super Cub C100
ホンダ スーパーカブ C100

年式 1960(昭和35)年
エンジン 空冷4ストローク単気筒 OHV
排気量 49cc
最高速度 70km/h
重量 65kg
自動遠心クラッチ付3段変速
発表年月日 1958年8月1日



展示車両は1960年に製造された貴重な1台です。

当時の2輪車のほとんどが2ストロークエンジンを搭載する中、耐久性や低燃費、扱いやすさなどから4ストロークエンジンを採用。基本的なスタイルを変えることなく、世界各国で長く生産・愛用され続けている。



長太の大楠

樹齢1000年を越えると言われる高さ約26.5mの大楠(県の天然記念物指定)



勝速日神社

レーサー達の願掛けに御用達!

まるかつ

白子港の目の前にある海産物問屋。名物の「バケツにぼし」は絶品。



ととりん魚魚鈴

前浜で揚がった新鮮魚介や、海苔などの乾物が揃う漁協直販の販売所。

詳しくはこちら

